OUKA
The University of Osaka
Institutional Knowledge Archive

Title	研究会・シンポジウムの記録［創刊号］
Author(s)	
Citation	臨床哲学. 1999, 1, p. 119-120
Version Type	VoR
URL	https://hdl.handle.net/11094/9172
rights	
Note	

The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA

https://ir.library.osaka-u.ac.jp/

The University of Osaka

臨床哲学研究会の記録

《研究会》

第１回 （1995.10.25）

鷲田清一（大阪大学教授・倫理学）:《苦しむ者》（homo patiens）としての人間）

第２回（1995.11.30）

中岡成文（大阪大学教授・倫理学）:臨床哲学はどのようなフィールドで働けるか

入江幸男（大阪大学助教授・哲学）:ボランティア・ネットワークと新しい〈人権〉概念の可能性

第３回（1996.4.25）:フリー・ディスカッション

第４回（1996.5.17）

川本隆史（跡見学園女子大学教授・倫理学）: 関東大震災と日本の倫理学
——四つの症例研究

第５回（1996.5.30）

池川清子（北海道医療大学教授・看護学）:看護——生きられる世界からの挑戦

第６回（1996.6.20）

堀一人（大阪府立刀根山高校教諭）:「おかわりクラブ」の実験から
——職業選択から自己実現への道筋

第７回（1996.9.26）

鷲田清一・中岡成文: 哲学臨床の可能性

第８回（1996.10.17）

小松和彦（大阪大学教授・文化人類学）:「癒し」の民俗学的研究

第９回（1997.1.23）

荒木浩（大阪大学助教授・国文学）:「心」の分節
——中世日本文学における〈書くこと〉と〈癒し〉

第10回（1997.7.3）

鷲田清一 ：臨床哲学事始め

山口修（大阪大 学教授・音楽学）:音と身

第11回（1997.9.25）テーマ「看護の現場から」

伊藤悠子（芦原病院看護婦）: Fever phobia の克服に向けて
—— Nightingale 看護論に依拠した小児科外来における実践から

西川勝（ＰＬ病院看護士）: 臨床看護の現場から

第12回（1997.11.27）

小林　愛（奈良市社会福祉協議会　音楽療法推進室）:音楽療法をめぐって

第13回（1998.7.2）

パネルディスカッション:「学校を考える——『不登校』という現象を通して」

提題者　栗田隆子　博士前期課程（臨床哲学）
寺田俊郎　博士後期課程（臨床哲学）
畑　英里　研究生 （臨床哲学）

第13回（1998.9.24）
山田　潤氏（大阪府立今宮工業高校定時制教諭）
第14回（1998.12.12）
パネルディスカッション：
「学校の現在と不在－哲学の現場から＜不登校＞現象を考える」
提題者　栗田隆子　博士前期課程（臨床哲学）
寺田俊郎　博士後期課程（臨床哲学）
畑　英里　研究生　（臨床哲学）

《公開シンポジウム》

第１回（1996.12.13）テーマ「哲学における〈現場〉」
熊野純彦（東北大学助教授・倫理学）：死と所有をめぐって―〈臨床哲学〉への途上で
古東哲明（広島大学教授・哲学）：臨床の現場―内と外との交差点
池田清彦（山梨大学教授・生物学）：おまえのやっているのは哲学だ／おまえには哲学がない
第２回　（1997.2.21）テーマ「ケアの哲学的問題」
川本隆史（東北大学教授・倫理学）：生きにくさのケア―フェミニスト・セラピーを手がかりに
清水哲郎（東北大学教授・哲学）：緩和医療の現場―ＱＯＬと方針決定のプロセス
中野敏男（東京外国語大学教授・社会学）：コメンテーター
第３回（1998.2.20）
第一部　テーマ１「女性におけるセルフをめぐって」
北川東子（東京大学）：孤立コンプレックス
吉澤夏子（日本女子大学）：親密な関係性
藤野寛（高崎経済大学）：コメンテーター
霜田求（大阪大学）：コーディネーター
第二部　テーマ２「国際結婚」
山口一郎（東洋大学）：ドイツと日本のあいだで――日常としての文化差
嘉本伊都子（国際日本文化研究センター）：国際結婚とネーション・ビルディング
浜野研三（名古屋工業大学）：コメンテーター
熊野純彦（東北大学）：コメンテーター
田中朋弘（琉球大学）：コーディネーター